



この度の台風10号により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い、早い復旧をお祈り申し上げます。

皆さまこんにちは。

お元気でおすごしですか。コロナの終息がまだまだはっきりしません。何となくコロナの中での生活が慣れてきて気が緩みがちになりますが、終息まで気を引き締めていきましょう。お祭りなど秋の行事も中止になるところが多く残念です。

さて、秋の空は高々と澄んでいて気持ちのいいものです。雲も刷毛でさっと描いたような薄く軽やかですから、空の高さを引き立てます。が、変わりやすいのも秋の空。

変わりやすい天候を「女心と秋の空」などと変わりやすいものの例えになっていますが、本来は男心が正しいのだとか。広辞苑を調べると確かに「男心と秋の空」とあり、**変わりやすいもののたとえ**と書いてあります。どうして**“女心”**になってしまったのでしょうか。

劇作家の宇野信夫さんは歌劇「リゴレット」の中で

“♪風の中の羽根のようにいつも変わる女心～”

とうたわれたことから、いつの間にか男から女に変わったのではと書いています。女性でも男性でも変わりやすいのは心ということでしょうか。

10月は実りの月。台風や豪雨で台無しにならないことを祈るばかりです。



今月は10月（神無月：かなづき）

神無月は一般的に出雲大社に各地の神様が出向くので神様が不在の月と言われていますが、これも一つの解釈だそうです。



特に有力な説と言われているのが神無月の「無」は無いというのではなく「の」という意味。由来は諸説ありますが、「神の月」つまりは神様を祭る月だから、神無月と呼ぶ説があります。

相続相談室

今回のテーマ < 相続税の納税資金確保のための不動産譲渡 >

Q 母の相続により、相続税の納税が大きくなりそうです。納税資金が足りないため母が残した不動産の一部を売却しようと思います。相続税の申告前に、不動産の売却は可能でしょうか。

A 納税資金確保のために、不動産を売却することは、よくあることです。相続税の申告期限前に不動産を売却することは可能ですが、次のことに注意する必要があります。

- 売却物件は、相続税の対象となる
- 相続税の小規模宅地の特例が、受けられなくなる
- 譲渡益が出る場合は、譲渡所得税が発生する
- 所有期間によっては、譲渡所得税の税率が高くなる
- 売却物件の相続登記が、必要である（遺産分割協議書が必要となる）

売却物件については、相続税の申告期限前に売却しても、当然、相続税の対象財産ですので、お母様が亡くなったときにおける土地、建物の評価をする必要があります。その物件が、小規模宅地の特例の対象となる場合、たとえば、貸付事業用宅地については、**200m² まで 50%評価減**をすることができます。

不動産を売却して、売却益が出る場合は、**譲渡所得税の計算の対象**となります

売却年の1月1日において、所有期間が5年以下の場合は、**税率 39%**(住民税含む)、所有期間が5年を超える場合は、**税率 20%**となります。

売却する場合には、**相続登記**が必要です。相続人が1人の場合は、問題ありませんが、相続人が複数いる場合には、**遺産分割協議**が必要となります。

不動産をいくつか所有している場合には、以上のようなことを考慮しつつどの不動産を売却したらよいかを検討するなど、なるべく早くとりかかることをお勧めします

※本文で紹介させていただいた内容は、概略となります。

詳細につきましては、税務署または税理士等の専門家にご確認ください。

東京メトロポリタン税理士法人

心あたたまる“いい話”第26回

～ 娘がママになってくれた ～

もう10年も前の話。当時8歳の娘と3歳の息子がいた。

妻が亡くなったことをまだ理解できないでいる息子に、私はどう接してやればいいのか、父親としての不甲斐なさに悩まされていた。

私自身でさえ妻の面影を追う毎日で、寂しさが家中を包み込んでいるようだった。

そんな時、私は仕事の都合で家を空けることになり、実家の母にしばらくきてもらうことになった。

出張中、何度も自宅へ電話をかけ、子供たちの声を聞いた。

2人の子供を安心させるつもりが、心安らぐのは私のほうだった気がする。

しばらくして、息子が通っている幼稚園の運動会があった。

“ママと踊ろう”だったか、そんなタイトルのプログラムがあり、園児と母親が手をつなぎ、輪になってお遊戯をするような内容だった。



「まあ、行くよ♪」、娘だった。

息子も笑顔で娘の手をとり、二人は楽しそうに走っていった。

一瞬、私は訳が分からずに呆然としていた。

すると、隣に座っていた母がこう言った。

あなたがこの間、九州へ行っていた時、正樹はいつものように泣いて、お姉ちゃんを困らせていたのね。

そうしたら、お姉ちゃんは正樹に、

「ママはもういなくなっちゃったけど、お姉ちゃんがいるでしょ？」

「本当はパパだって、とってもさみしいの！」

「だけどパパは泣いたりしないでしょ？」

「それはね、パパが男の子だからなんだよ。まあ男の子だよ。」

「だから、だいじょうぶだよ。」

「お姉ちゃんが、パパとまあのママになってあげるから。」



そう、言っていたのよ。

何ということだ。娘が私の変わりにこの家を守ろうとしている。

場所もわきまえず、私は流れてくる涙を止めることが出来なかった。

10年たった今も、あの頃のことを思い出すと涙が出てくる。

来年から上京する娘よ、「おとうさんは君に何かしてあげられたかい？」

君に今、どうしても伝えたいことがある。

「ずっと支えてくれてありがとう。君は最高のママだったよ。」

日本の城 九州・沖縄地方②

かつれんじょう

勝連城跡(沖縄県うるま市)



沖縄本島中部・勝連半島の根元に位置する丘陵地。築城は沖縄の城の中で最も古く、12世紀頃と伝えられている。15世紀、この地で勢力を誇った按司・阿麻和利(あまわり)の居城としても知られている。阿麻和利は、座喜味城(ざきみじょう)を築いた護佐丸を滅ぼし、さらに琉球統一を目指して首里城を攻め立てるが、逆に首里軍に攻められ落城し、廃城したと言われている。

ひとよしじょう

人吉城跡(熊本県人吉市)



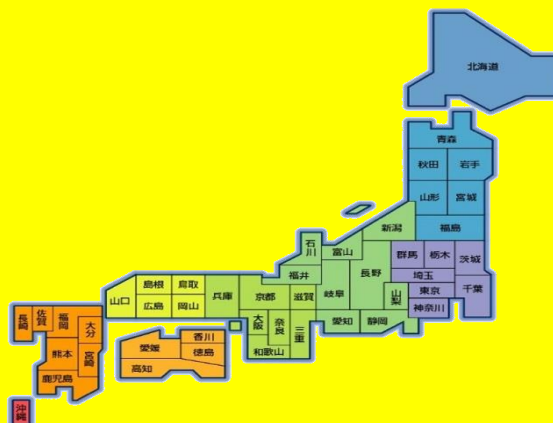
日本100名城に選定されている人吉城を整備した城跡公園。球磨川と胸川が堀の役割を果たす特異な築城と、江戸時代末期に施された石垣のはね出し武者返しが特徴だ。現在は大手門際の多門櫓と角櫓、長塀などが復元されている。



おびじょう

飢肥城跡(宮城県日南市)

南北朝時代、土持氏によって築城されたとされる城。戦国時代は伊東氏と島津氏の間で城の覇権争いが続いた。1588(天正16)年に豊臣秀吉の命で、伊東祐兵が入城。初代藩主となって城下の建設に取りかかり、伊東氏は明治初期まで約280年間、14代に渡って飢肥藩を治めた。1869(明治2)年、伊東家が大手門前の豫章館(よしようかん)に移り、その後城内の建物は全て取り壊されたが、1978(昭和53)年に大手門が復元された。



なきじんじょう

今帰仁城跡 (沖縄県国頭郡今帰仁村)



今帰仁城跡は沖縄本島の北部に位置する歴史的なグスクで、その歴史は古く13世紀まで遡るといわれている。14世紀、琉球王国以前の三山時代には、北山国王の住んだ居城として機能し、中国や東南アジアとの貿易も盛んで、数多くの陶磁器などが出土している。主郭は標高約100mの高台にあり、やんばるの地を守る要の城とされてきた。



株式会社 **コトブキホームビルダー**



0120-37-5106

〒152-0002

東京都目黒区目黒本町5-7-15

